



CHINA

2月27日(月)

クボタ、海外生産5割に

中国・北米/新工場で増産体制
クボタは、農業機械や建設機械をメーンとする機械事業の海外生産を2019年をめどに現在の3割から5割に引き上げる。北米や中国の新工場稼働で生産量を増やす。(7面)

積水、上海に統括会社

自動車・メディカル・テープ・管材
積水化学工業は、上海に現地のグループ会社を統括会社を設立した。自動車やメディカル、テープ、管材などの生産・販売会社がある。経営管理の支援とガバナンス機能を強化。(10面)

2月28日(火)

香港・台湾など人気

農林水産物・食品企業をジェトロが調査。輸出先で人気の高い国・地域は台湾、香港、米国、シンガポール、中国の順。米国以外、アジアの近隣諸国・地域が上位。(2面)

日本冶金、中国合併

高機能材を販売
日本冶金工業は、江蘇省に高機能材を販売する合併会社を設立する。現地大手鉄鋼・南京鋼鉄に製造委託。ニッケルを20%以上含有する合金。プラントや大型設備機器向け。(15面)

3月2日(木)

中国PMI、0.3%上昇

2月51.6/生産者物価が回復
中国の2月の製造業購買担当者指数(PMI)は51.6と、前月比0.3%上昇した。当局が金融リスクの抑制を図る中で、生産者物価の回復が追い風となった。(4面)

中国・北京で5日開幕した全国人民代表大会(全人代)に臨む習近平国家主席(左)と李克強首相(AFP=時事) =6日付



3月3日(金)

中国全人代-5日開幕

鉄鋼の過剰生産焦点
中国の全人代が、5日開幕する。大胆な改革は避け、安定を重視した政策を打ち出すとみられる。実質GDP成長率の目標設定や、鉄鋼や石炭の過剰生産問題が焦点。(深層断面=26面)

3月6日(月)

経済成長、3年連続下げ

6.5%/全人代開幕
中国の第12期全国人民代表大会(全人代)が5日開幕。李克強首相は冒頭の政府活動報告で、2017年の経済成長率の目標を6.5%前後に引き下げた。引き下げは3年連続。(時事=2面)

3月8日(水)

日ピス、中・米で増産

VWからの受注規模急増
日本ピストンリングは、中国と米国のパルプシート生産拠点の能力を2018年春までに増強する。独VW向け受注

の規模が大きく、中国、米国の生産能力を拡充して供給を安定。(6面)

道路機械、海外1.5倍

住友建機/中国など4極体制
住友建機は、道路機械の海外を拡大する。年間販売を1.5倍に増やす。道路整備が加速する見込みの中国と欧州、東南アジア、中近東の4極による事業体制を確立。(7面)

3月10日(金)

三菱電機、FA機器工場拡張

サーボモーター/4月稼働
三菱電機は、江蘇省常熟市のFA機器工場を拡張する。サーボモーターなどを生産する第2工場を新設。旺盛な現地需要に応える。4月に稼働。50億円投資。(8面)

3月13日(月)

中国から移転増加

日本企業、国内回帰が鮮明
日本企業の国内回帰やASEANシフトが鮮明。閉鎖の対象となる「移管元」として中国が最多、日本を上回った。「移管先」ではASEANが最多。ジェトロ2016年度調査。(3面)

3月14日(火)

中国で電力使用量「見える化」

日立建機/製造業も対策
日立建機は、中国の生産拠点で電力使用量の「見える化」に乗り出す。日立製作所と開発した監視システム。中国では環境対応や省エネ基準で製造業も対策を強化。(9面)

3月15日(水)

中国小売り伸び異例1ヶタ

1-2月9.5%増
中国の1-2月の小売売上高は前年同期比9.5%増となり、伸び率は2016年全体の10.4%を下回った。伸びが1ヶタにとどまるのは異例。春節のため年初は1-2月累計。(時事=4面)

3月16日(木)

失業者の大量発生を防ぐ

李克強首相/全人代・閉幕会見
李克強首相は、全人代の閉幕記者会見で、失業者の大量発生を必ず防ぐと強調した。社会不安が広がりは避けなければならず、習近平国家主席の安定重視の路線を確認。(時事=3面)

3月17日(金)

宝山鋼鉄、スラブ鍛造機更新

三菱重工系が受注
英プライメタルズテクノロジーズ(三菱重工グループ)は、中国・宝山鋼鉄から第1製鉄所のスラブ連続鍛造機の更新工事を受注。板幅1300ミリ、厚さ最大357ミリのスラブを鍛造。(11面)

新製品や多関節ロボットを投入する。約2倍の台に引き上げる。(1面)

3月9日(木)

中国から移転増加

日本企業、国内回帰が鮮明
日本企業の国内回帰やASEANシフトが鮮明。閉鎖の対象となる「移管元」として中国が最多、日本を上回った。「移管先」ではASEANが最多。ジェトロ2016年度調査。(3面)

2月新車-5社2ヶタ増

小型車減税幅縮小も販売増
日系自動車メーカー7社の2月の中国での新車販売は、スズキと富士重工業を除く5社が前年実績を超えた。5社とも2ヶタ増。小型車の減税幅が縮小されたが、販売増を維持。(7面)

大型プレス機生産、3極体制

日本電産シンボ/欧・米・中
日本電産シンボは、自動車向け大型プレス機の生産・サービスで世界3極体制を構築する。欧州に加え米国と中国でも生産。採用が増えているハイテンの加工機需要を取り込む。(9面)

ZTE、12億%罰金

対イラン禁輸措置違反
米政府は、中国・通信機器大手・中興通訊(ZTE)が対イラン禁輸措置違反などを認め、総額11億9000万ドル(約1360億円)の罰金を米商務省などに支払うことで合意。(時事=11面)

3月10日(金)

三菱電機、FA機器工場拡張

サーボモーター/4月稼働
三菱電機は、江蘇省常熟市のFA機器工場を拡張する。サーボモーターなどを生産する第2工場を新設。旺盛な現地需要に応える。4月に稼働。50億円投資。(8面)

脱硫・脱硝システムを展開

日揮/コークス炉向け
日揮は、中低温排ガス向け乾式脱硫

・脱硝システムを開発し、中国で事業展開する。排ガス規制が強化されたコークス炉など向けに技術供与やシステム導入での展開。(8面)

3月13日(月)

カーシェア17万台突破

中国2020年/年50%超伸び
中国のカーシェアリング登録自動車が、2020年までに17万台に達するとPwCが予測。年間50%超のペースで拡大。利用経験なしの77%が利用に関心。(時事=7面)

タカトリ、中国現法

液晶組立装置/半導体製造装置
タカトリは、江蘇省に現地法人を4月に設立する。液晶パネル組み立て装置や半導体関連製造装置を製造する。中国の電子機器市場の拡大を見込み、子会社設置を決めた。(9面)

3月14日(火)

中国で電力使用量「見える化」

日立建機/製造業も対策
日立建機は、中国の生産拠点で電力使用量の「見える化」に乗り出す。日立製作所と開発した監視システム。中国では環境対応や省エネ基準で製造業も対策を強化。(9面)

河合楽器、中国開拓を加速

調律・販売・音楽教室
河合楽器製作所は、中国事業と高付加価値製品に力を入れるブランド戦略を強化する。中国は販売、調律、音楽教室の三位一体戦略を加速。調律技術者を1万人育成。(20面)

3月15日(水)

中国小売り伸び異例1ヶタ

1-2月9.5%増
中国の1-2月の小売売上高は前年同期比9.5%増となり、伸び率は2016年全体の10.4%を下回った。伸びが1ヶタにとどまるのは異例。春節のため年初は1-2月累計。(時事=4面)

3月16日(木)

失業者の大量発生を防ぐ

李克強首相/全人代・閉幕会見
李克強首相は、全人代の閉幕記者会見で、失業者の大量発生を必ず防ぐと強調した。社会不安が広がりは避けなければならず、習近平国家主席の安定重視の路線を確認。(時事=3面)

3月17日(金)

宝山鋼鉄、スラブ鍛造機更新

三菱重工系が受注
英プライメタルズテクノロジーズ(三菱重工グループ)は、中国・宝山鋼鉄から第1製鉄所のスラブ連続鍛造機の更新工事を受注。板幅1300ミリ、厚さ最大357ミリのスラブを鍛造。(11面)

ASIA

2月27日(月)

タイでスマートシティ開発

アマタ/横浜市と連携
タイ工業用地開発大手・アマタ・コーポレーションは横浜市と連携してスマートシティ開発に乗り出す。チョンブリー県の工業団地周辺に再生エネ関連施設やEVを導入。(1面)

医療・健康分野を分社

シャープ/鴻海と合併
シャープは、医療・健康分野を分社化し、台湾・鴻海精密工業の医療関連子会社の出資を受け合併会社を設立する。両社の事業を再編し、研究開発を加速する。(3面)

2月28日(火)

いすゞ、ASEAN部品5割

タイ開発新車/関税減免
いすゞ自動車は、新型の中型トラックで、ASEANでの部品調達を5割超に。日本からタイに開発機能を移管して開発する初の新車。域内部品4割以上で関税が減免。(1面)

タイ、ロボ導入機運高まる

産業構造転換の切り札
タイでロボット導入機運が高まる。新産業政策「タイ4.0」でもロボットによる自動化が掲げられた。タイでも少子高齢化が進み、人件費が高騰。労働集約型からの転換に迫られる。(2面)



パナ、ベトナム工場増強

配線器具・プレーカー2倍
パナソニックは、2020年度までにベトナムの配線器具とプレーカーの工場の年産能力を約2倍に増強する。配線器具約1億600万台、プレーカー約2600万台。(12面)

架線検測装置、アジア開拓

明電舎/マレーシア納入
明電舎は、鉄道の架線検測装置「カテナリーアイ」をマレーシア国有鉄道に6ヶ国納入する。大型の実績をアピールしアジアで拡販。変圧器や遮断機などの電力設備の提案に。(13面)

昭和電工、ベトナム新工場

アルミ缶7億缶/既存も増強
昭和電工は、ベトナム中部のクアンナム省にアルミ缶工場を新設する。新工場の年産能力は7億缶。既存工場も増強、投資総額は約50億円。国内外の飲料メーカーの進出が盛ん。(15面)

3月1日(水)

タタ、ドコモに11億%支払い

インド撤退/国際仲裁裁判所
NTTドコモは、インド撤退に伴う株式売却に関し、印タタ・サンズが約11億8000万ドル(約1300億円)の損害賠償を支払うことで合意した。国際仲裁裁判所の命令をタタが受け入れ。(3面)

三菱自、生産2倍-4万台

フィリピン
三菱自動車は、フィリピン生産・販売会社が、2017年の生産台数を前年の2倍近い4万台に増やす方針だ。フィリピン政府の自動車製造奨励策に参加する。(時事=7面)

SK、東芝メモリー買収検討

経営権の継承含め検討
韓国SKハイニックスは、東芝の半導体事業部門の株式50%を買収することを検討。経営権の継承も含め、入札に積極的に対応していく方針。(時事=12面)

シャープ、改善効果600億円

鴻海傘下6カ月
シャープは、台湾・鴻海精密工業の傘下に入って以降、6カ月間での経営改善効果は、長期取引契約の見直し、コストダウン、構造改革を含めて600億円以上。(12面)

三井化学、タイ増産

紙おむつ材料6割増
三井化学は、タイで増設した紙おむつ向け通気性フィルムの製造設備が本格稼働した。年産能力は62.7%増の1万9000トに拡大。紙おむつの高級化と東南アジア拡大に対応。(14面)

3月2日(木)

IOTでインドと提携

日本=製造業/インド=IT
IoT推進コンソーシアムは、インドの全国ソフトウェア・サービス企業協会と、IoT分野で提携する。製造業に強みを持つ日本と、IT大国のインドで互いの強みを生かす。(2面)

3月3日(金)

ダイヤモンド電機、新工場

インドネシア/点火コイル200万本
ダイヤモンド電機は、インドネシアで自動車エンジン用点火コイル工場の新設を再検討。2018年にも年200万本の生産ラインで始動し、顧客要請に応じ順次拡充する。(6面)

東南アでM&A推進

ツネシカムテックス
ツネシカムテックスは、東南アジアでM&Aを進め、廃棄物処理を6億円規模に引き上げる。現在、国内向けが9割超。東南アジア攻略で海外展開拡大に弾み。(9面)

サムスンが品質革新室

ギャラクシー発火問題対応
韓国サムスン電子は、事業全般にわたり品質・製造過程の向上を図る「グローバル品質革新室」を新設した。「ギャラクシーノート7」発火問題対応で、品質管理を強化。(時事=10面)

ベトナムで保冷小口配送

ヤマトHDは、ベトナム・365エキスプレスと合併会社。ベトナムで保冷小口配送サービスを9月始める。越国内産だけでなく、日本の生鮮品や日本食材を飲食店などに配送。(15面)

りそな、中小の東南ア進出支援

パートナー候補紹介/M&A助言
りそな銀行は、中堅・中小企業の東南アジアへの進出支援に乗り出す。海外企業とのM&Aの助言やパートナー候補紹介、人事労務関連の情報提供。地方銀行の取引先も対象。(19面)

3月6日(月)

鉄道用電力設備-アジア拡大

明電舎/現地人材を採用
明電舎は、アジアで鉄道向け電力設備の受注活動を強化する。鉄道業界に精通した現地の人材を積極的に採用。また設備の生産、工事、設計で現地企業との協業を進める。(10面)

UACJ、タイ工場増産投資

アルミ圧延品32万ト
UACJは、公募増資と劣後特約付ローンで約560億円を調達する。約200億円をタイ工場のラヨン製造所の設備増強に。アルミ圧延品の生産能力は18万トから32万トに。(12面)

3月7日(火)

日本から依頼殺到

ベトナムITベンチャー
日本に留学経験のある4人のベトナム人が、2012年に立ち上げたITベンチャー「リッケイソフト」が急成長。日本からの業務委託が増え、従業員は250人と創業から10倍以上。(3面)

3月8日(水)

オリオン機械、インド合併

産業用チラー/現地仕様
オリオン機械は、インド・タミルナドゥ州に現地のGEMイクイブメントと合併会社を4月に設立し、産業用チラーを生産・販売する。現地仕様と合わせた低価格帯の製品。(8面)



オリオン機械(株)代表取締役社長 田中 長吉(左)とGEMイクイブメント代表取締役社長 見本 正史(右)が握手を交す。オリオン機械は、インド・タミルナドゥ州に現地のGEMイクイブメントと合併会社を4月に設立し、産業用チラーを生産・販売する。現地仕様と合わせた低価格帯の製品。(8面)

タッチセンサー、韓国で増産

住友化学/1億台分
住友化学は、韓国子会社・東友ファインケムで有機ELパネル用タッチセンサーフィルムを増産する。年産能力はスマートフォン換算で3億台約1億台分。(13面)

ベトナムで高度人材育成

三谷産業/組織を活性化
三谷産業は、個人の意識改革や、チームワーク向上につながる人材育成研修プログラム「リチャージング」の提供をベトナムで始めた。組織を再構築し活性化する方法。(15面)

3月9日(木)

タイで車部品を設計・開発

アルファ/現地仕様
アルファは、タイの自社拠点内に車部品の設計開発部門を新設する。東南アジアやインドの取引先完成車メーカーに、部品の設計変更などに現地対応できるようにする。(7面)

3月10日(金)

インドをWTOに提訴

緊急輸入制限/熱延コイル
政府は、インドが発動した鉄鋼製品の緊急輸入制限が、WTO協定に違反する可能性があるとして、WTOに提訴した。自動車や産業機械などに使われる熱延コイル。(2面)

印ベンガルルール1位

急速に変化している都市
世界とのつながりを強める主要都市の活力を分析した2017年版年次レポートで、急速に変化している都市の1位にインドのベンガルルールが初めて選ばれた。インドが躍進。(4面)

急速に変化している都市

順位	都市(国)
1位	ベンガルルール(インド)
2位	ホーチミン(ベトナム)
3位	シリコンバレー(米国)
4位	上海(中国)
5位	ハイデラバード(インド)
6位	ロンドン(英国)
7位	オースティン(米国)
8位	ハノイ(ベトナム)
9位	ボストン(米国)
10位	ナイロビ(ケニア)

JLL調べ

サムスン、米の製造拠点拡張

メキシコから移転
韓国サムスン電子は、米国内の製造拠点の拡張を検討。初期投資だけで3億ドル。オープンレンジの製造をメキシコから移転し、新たに500人雇用。トランプ政権に配慮。(時事=11面)

アマタ、産廃の再資源化加速

台湾でシリコン含む廃液再資源化
アマタHDは、海外で産業廃棄物の再資源化事業と資源循環利用を推進す

台湾でシリコンを含んだ廃液の再資源化

燃料製造を事業化
台湾でシリコンを含んだ廃液の再資源化。廃棄物調合によるセメント原料製造を事業化。(13面)

3月13日(月)

朴槿恵大統領、罷免

政治・経済一安定を
韓国の朴槿恵大統領の罷免が10日に決定。経団連の榊原定征会長は「新大統領の下、政治・経済安定的な状態となり、日韓関係が未来志向で良好に発展していくことを期待する」。(2面)

VW・タタ、期で協業

VW-低価格市場戦略
独VWと印タタ・モーターズが、同国での技術提携などに向けた覚書を締結した。VWの低価格市場戦略の一環。市場に適した車両のラインアップを拡充。(時事=7面)

台湾製の仕事機械の展示場

日藤ボリゴン/機械卸業団地
日藤ボリゴンは、台湾製の仕事機械を販売・サービスする拠点「大阪展示場」を東大阪市の機械卸業団地に開設する。旋盤とラジアルボール盤のテスト加工。(11面)

グンゼ、台湾の事業から撤退

タッチパネル向けフィルム
グンゼは、台湾のタッチパネル向け導電性スパッタフィルム事業から撤退する。需要低迷とフィルムの市場価格の大幅な下落。2017年3月期連結決算で約26億円の特別損失。(17面)

3月14日(火)

三菱自・日産-共同生産

東南ア/トラック
三菱自動車は、日産自動車と東南アジアでのピックアップトラックの共同生産を検討。三菱自のピックアップトラックのアーキテクチャーが、両社の車両の基盤になるかも。(時事=7面)

3月15日(水)

大同工業、ベトナムで量産

2輪車チェーン/300万台分
大同工業は、ベトナムで2輪車向けチェーンの量産を始める。ハノイ市近郊の工業団地で工場を借りる。タイ製造の部品から約300万台分に相当する約360万本を生産する。(7面)

3月16日(木)

双日、工業団地を拡張

インドネシア
双日は、インドネシアで現地企業と合併で開発している大規模複合都市デルタマス・シティで、新たに約130万平方メートルの開発用地を取得した。工業団地用地を拡張する。(1面)

松風、インドに現法

差し歯材料・歯科用セメント
松風は、インドに現地法人設立する。中間所得層が増え歯科市場も成長。インドでは削削材、セラミックス製の差し歯材料、歯科用セメントなどを現地販売代理店に販売。(13面)

「中国・アジアダイジェスト」面
次回は4月3日に掲載します。

3月16日(木)

失業者の大量発生を防ぐ

李克強首相/全人代・閉幕会見
李克強首相は、全人代の閉幕記者会見で、失業者の大量発生を必ず防ぐと強調した。社会不安が広がりは避けなければならず、習近平国家主席の安定重視の路線を確認。(時事=3面)

油圧ショベル、2月4倍

1-2月2.9倍/最高の伸び
中国の2月の油圧ショベル国内販売は、前年同月比約4倍の1万4530台と市場予測を上回った。春節ずれの影響を除く1-2月は2.9倍の1万9078台で最高の伸び率。(時事=7面)

3月17日(金)

宝山鋼鉄、スラブ鍛造機更新

三菱重工系が受注
英プライメタルズテクノロジーズ(三菱重工グループ)は、中国・宝山鋼鉄から第1製鉄所のスラブ連続鍛造機の更新工事を受注。板幅1300ミリ、厚さ最大357ミリのスラブを鍛造。(11面)

中国